

【公園リニューアル計画社会実験2023結果】テーマ1 その日は できる公園

1 とだロコピクニック

【概要】

ステージ発表、ワークショップの開催、キッチンカー等の出店。

【結果】

- ・出店者からの協賛金の仕組みを利用した催し。
- ・町会やソフトボールチームと連携して催しを開催し、賑わいの相乗効果を生んだ。
- ・公園内の施設（藤棚、ちびっこプール、球場スタンド）が有効活用された。

主体者 とだロコピクニック

参加人数 5,125名 開催3回

場所 北部公園、修行目公園



2 クラシックカー同窓会

【概要】

同窓会形式でクラシックカーを展示する催し。会場内のゴミ拾い活動も実施。

【結果】

- ・今年度の開催ではキッチンカーの増車、スタッフの増加、レイアウトの変更等改善の結果、市内外から多くの来場者が訪れた。

主体者 平和建設株式会社/トダピース

参加人数 1,000名

場所 彩湖・道満GP多目的広場



3 公園アートプロジェクト TODArt.Park

【概要】

アクションペインティングや編み物等のアート体験ができる催しの開催。

【結果】

- ・昨年度より体験できるアートの内容が充実し、継続して実施してきたことによる認知度の向上もあり、参加者数も増加した。
- ・新たな試みとして、ParkCafe（飲食物の提供）が始まった。

主体者 TODArt.Labo（トダアートラボ）

参加人数 470名 開催3回

場所 けやき公園、中町公園、
芦原たんぼ公園



4 みんなで育てるイルミネーション「トダイルミ」

【概要】

イルミネーションの実施及び定期的なマルシェイベントの開催。

【結果】

- ・イルミネーションの設置数が昨年の2.6倍の6万3千球と大幅に増加し、設営はすべてボランティアで実施。
- ・イルミネーション点灯期間中の第2、第4土曜日に開催したトダイルミマルシェでは、昨年の倍の8ブースを設置し、冬の公園に賑わいが生まれた。

主体者 市役所南通りの景観と文化を育む会

参加人数 2,700人 催し開催6回

場所 後谷公園、噴水公園



【公園リニューアル計画社会実験2023結果】テーマ1 その日は できる公園

5 キッチンカーフェスティバル

【概要】
テーマを設けたキッチンカーの出店、車中泊カーの展示。

【結果】
・出店テーマを設けたことにより、食べ比べを目当てに多くの来場者が訪れた。
・防災の観点からも需要のある、車中泊カーの展示も行われた。

主体者 株式会社ピースステージ

参加人数 746名 開催2回

場所 北部公園



6 TODA夕暮れこども食堂

【概要】
キッチンカーによる夕暮れ食堂の開催。野菜や食材などの提供があればパントリーも同時開催。

【結果】
・今年度から二公園で開催。継続して実施することにより、楽しみにしている子どもが増えた。
・多くの参加者がいるため、自転車の整理やスタッフ不足等の課題も見えた。

主体者 夕暮れ食堂

参加人数 1,170名 開催13回

場所 東町公園・馬場ふれあい公園



その他事業

・第46回ふれあい住宅デー
(埼玉土建一般労働組合藤戸支部)



・テントタープ展示会
(株式会社メガスポーツ
スポーツオーソリティ北戸田店)



・アスファルト舗装補修試験施工
新たな補修工法で公園の賑わい創出
(ニチレキ株式会社埼玉営業所)



・有料施設を使って、公園に賑わいを！！
(一般社団法人TMG本部)



・戸田市deソロキャンプ！
(日本単独野営協会埼玉支部)



・戸田市まちウォーク2023
(戸田市まちウォーク実行委員会)



・市民なごみ茶会 野点席
(茶道連盟)



・ディスクゴルフ体験イベント
(戸田市ディスクゴルフ協会)



・バーチャル地図を使って道満を歩いてクイズに答えよう
(伊藤志テクノソリューションズ株式会社 未来技術研究所)



テーマ2 公園活用のアイデア募集！

・ママ街コン

【概要】公園を活用した、孤育てママたちのママ友、子どもの友達作りイベント。

・高単価アドベンチャーツアーの造成と販売事業

【概要】ネイチャーリソースをコンテンツとしたアドベンチャーツアー、ボート体験、先端モビリティ体験等

・誰でも遊べる！インクルーシブパークづくり

【概要】仮設のインクルーシブ遊具を設置する催しを行い来場者の声を集め、インクルーシブパークづくりにつなげる。

・公園アートプロジェクト「残せるアート制作」

【概要】公園のトイレの壁やベンチのアート化、エコブリックスを活用した花壇や看板等、残せるアートの制作。

【公園リニューアル計画社会実験2023結果報告と2024年4月以降の公園活用】

公園リニューアル計画社会実験2023結果報告

【目的】

公園に賑わいを創出することを目指して、主体者の自由な発想と責任により、公園活用を図る催し等に継続的に取り組む。また、公園が有するポテンシャル、利用者の指向性を捉えると共に、公園に賑わいをもたらす新たな担い手を発掘する。

【結果】

- ・ **15団体による公園の利活用**により、**合計で12,000人を超える人**が公園に集まり、公園に賑わいが生まれた。
- ・ **多様な分野にわたる公園活用**のアイデアを表現する主体者の発掘に繋がった。
- ・ 主体者の想いを表現する催し等を開催するには、**町会等、事前に地域の方々の理解を得ることが必要。**
- ・ 主体者が実施した催しは、賑わいを創出することに加え、**市の施策推進や地域課題の解決に繋がる糸口を秘めている。**

2024年4月以降の公園活用

【今後の方向性】

戸田市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づいた公園の利活用を進め、継続的な賑わいの創出を目指す。

- <これまで>
- ・ 社会実験（R3～R5年度）については、公園の利活用をしやすいするため、制限緩和や使用料減免をインセンティブとして付与。
 - ・ 個々の提案を都度審査し、公園で行う催し等として、適切な内容であることを判断。
- <今後>
- ・ 都市公園での利活用については、条例に規定のある**行為の制限に対して許可した場合に実施。**
 - ・ 使用料については、条例に基づき徴収。